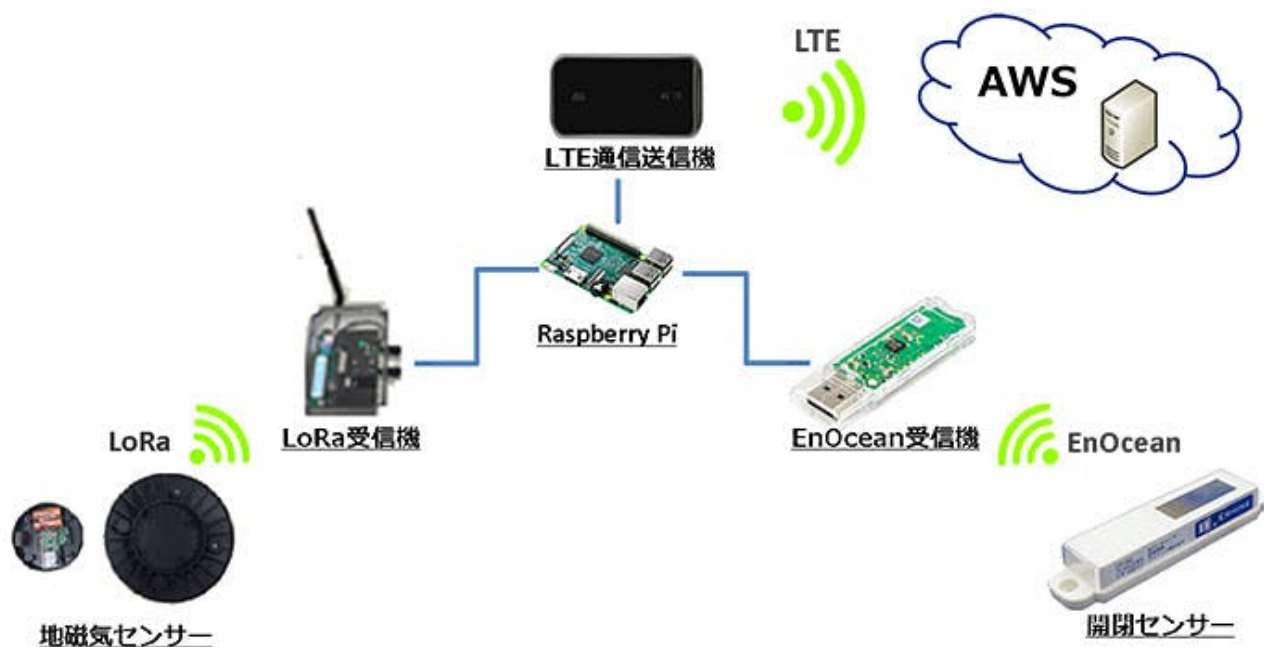


レオパレス21など、IoTで不正駐車と不法投棄を監視

2018年3月27日 20:00

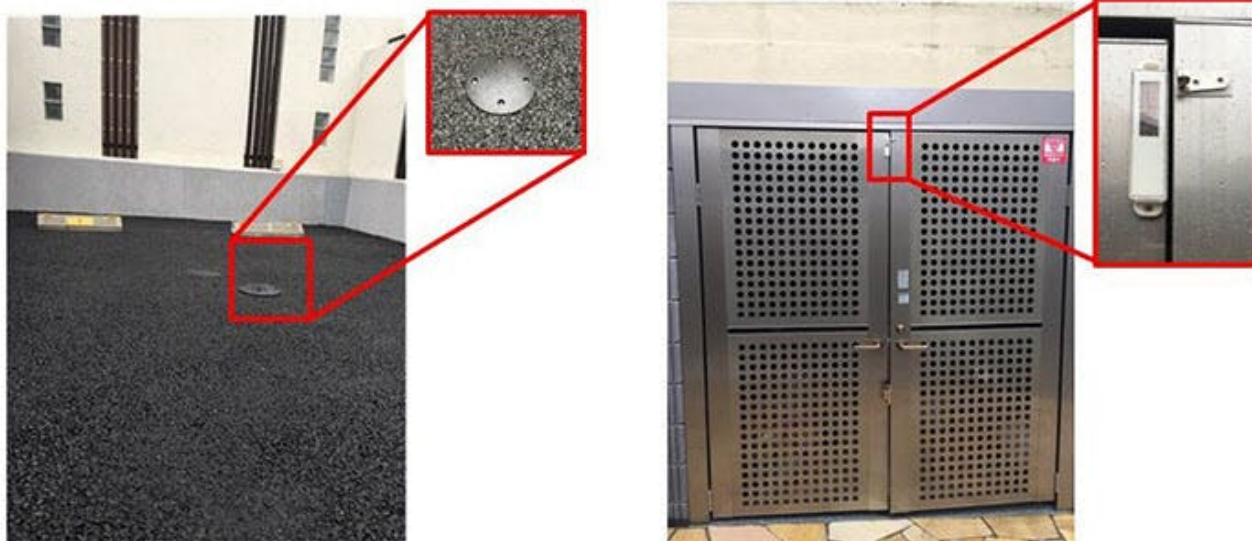


レオパレス21とKDDI、アイレット（東京・港）、オプテックスの4社は、あらゆるモノがネットにつながる「IoT」を活用して、賃貸アパートの駐車場とごみ置き場の遠隔監視を行う実証実験を2018年3月26日から始めた。「契約駐車場の不正駐車」と「時間外のごみ出し・不法投棄」の課題を解決するため、IoT活用の実用性と技術の検証を行う。



実証実験のシステム構成図(出所:レオパレス21)

今回の実証実験は、埼玉県川口市のレオパレス21管理物件1棟を対象に実施する。駐車場には地磁気センサーを設置し、未契約の駐車場で駐車の有無を検知する。不正駐車がある場合は管理者にメールで通知する。ごみ置き場の扉には開閉センサーを設置し、指定時間外に開閉があると管理者にメールで通知する。通知を受け取った管理者は、既存のネットワークカメラで現場の状況を確認し、時間外のごみ出しや不法投棄の監視が可能となる。監視状況は、クラウド上で管理され、パソコンやスマートフォンなどでいつでも確認できる。IoTの活用によって、即時対応が可能となるほか、管理者は物件を常に監視する必要がなくなり、業務の効率化につながるとする。



駐車場に設置した地磁気センサー(左)と、ごみ置き場に設置した開閉センサー(右)(出所:レオパレス21)

今後、レオパレス21とKDDI、アイレットの3社は実証実験の結果を踏まえて、賃貸物件を中心にIoTを活用する各種サービスなどへの応用・展開を模索としている。

(ライター 森元美稀)

[日経 xTECH 2018年3月26日掲載]

関連キーワード: インターネット・オブ・シングス レオパレス21 オプテックスグループ KDDI
不正駐車

日経BPの関連記事

- ・ [特報] レオパレス21が買収投資に最大400億円、家賃依存から脱却へ
- ・ [特報] レオパレス21が民泊参入へ、関連法の成立を受けてIT整備
- ・ グーグル検索の順位が変わる！？ レオパレス21が進める“モバイルファースト”
- ・ 技術とビジネスの最前線を伝えるデジタルメディア「日経 xTECH」